

多職種連携ポータルサイトの利用状況

各システムの現状

(1) 多職種連携タイムライン

- ・登録者数がいまだ二百数十人と伸び悩んでおり、新規登録者数も減少傾向(別添1,2)
- ・さらに、ポータルサイトから各種多職種連携システムへの遷移数も少ない(別添1,2)
- ・各地区医師会からのポータルサイトへのご意見は別添3「各地区医師会からの多職種連携タイムラインへのご意見」のとおり。

各システムの現状

(2) 転院支援システム

- ・都内1004医療機関にアカウントを付与しているが、ログイン実績があるのはそのうち3分の1程度である。
- ・7月末時点で転院システムによるマッチング実績がなく、システムに登録された患者数も44人程度である。

都の取組

- R2.10 システムリリースに合わせ利用方法を解説した動画を都HP上に掲載。
(https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/zaitakuryouyou/t-portal1.html)
(https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/zaitakuryouyou/t-portal2.html)
- R3.3 「ICTを活用した医療介護連携モデル事業」にて、各地区医師会から多職種連携タイムラインを使用した感想等を収集(別添3)
- R3.6 転院支援システムの活用事例を執筆いただき、HP上に掲載(同上)。
合わせてポータル上で周知。
- R3.8 多職種連携システムそのものの利用促進のため、「地区医師会・区市町村担当者会議」にて、各地区医師会の多職種連携システム導入までの経緯や、区市町村の導入状況を示した資料を配布予定。
- R3.8 転院支援システムへの患者登録実績がある医療機関に対し、システムの使い勝手等に関するアンケートを実施予定。(回答が集まり次第別途共有予定)
- R3.10 MSW等に向けた転院支援システムの研修を実施予定(動画配布による)。

別添資料

別添1 多職種連携ポータルサイト 利用実績(令和2年度)

別添2 多職種連携ポータルサイト 利用実績(令和3年4月~6月)

別添3 各地区医師会からの多職種連携タイムラインへのご意見